

平年より14~15日早く「ふじ」が発芽！
薬剤散布は遅れずに!!

3月の気温が高く経過したことから、果樹の生育が大幅に早まっています。また、3月23日に仙台管区气象台が発表した1か月予報では、向こう1か月の平均気温は、高い確率80%となっています。

このため、剪定や枝片付けの作業を急ぐとともに、薬剤散布は遅れないように実施してください。

1 生育状況

「ふじ」の発芽日は、三戸町で平年より14日、八戸市で15日早かった。

○「ふじ」の生育ステージ

地域	年	発芽日	展葉日	開花日	満開日	落花日
三戸町 梅内	本年	3/23				
	平年	4/6	4/16	5/5	5/10	5/15
	前年	4/6	4/12	4/27	5/5	5/10
八戸市 櫛引	本年	3/23				
	平年	4/7	4/19	5/7	5/12	5/17
	前年	4/5	4/12	4/27	5/3	5/8

2 剪定、枝片づけ

剪定や枝片づけが遅れている園地では、施肥や薬剤散布などの支障とならないように作業を急ぎ、できるだけ早めに終える。間に合わない場合は、剪定枝を木の根元によせてスピードスプレーヤーの走路を確保する。

ただし、剪定枝を園内に放置したり積んでおくと、腐らん病、リンゴハダニ、ハマキムシ類の発生源となるので、早めに処分する。

3 第1回目の薬剤散布「ふじの展葉1週間後頃」

黒星病やモニリア病の防除上、重要な時期なので、自園地のふじの「展葉日」(右写真)を確認し、その1週間後頃に行う。



第1回目「ふじの展葉1週間後頃」

散布時期	基準薬剤	散布量
ふじの 展葉1週間後頃 【参考】 三戸町梅内の平年は、4月23日頃	ハーベストオイル	200倍
	バリアード顆粒水和剤	4000倍
	ベフラン液剤 25	1000倍
		300 ℓ/10 a

※農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

4 霜害防止対策

生育が大幅に早まっているため、霜害を受ける危険性が例年より高い。

花芽の耐凍性は発芽とともに低下するので、気象情報に十分注意し、降霜の恐れのある場合は、防霜ファンや燃焼法による対策を行う。なお、燃焼法を行う場合は、事前に所轄の消防署に届出書を提出する。